

# 今年度の検討事項と進め方 について（案）

---



# 今年度の検討事項（案）

これまで策定した3つの政府戦略（注1）と推進方策（注2）を踏まえ、今年度は以下の事項について集中して検討を実施してはどうか。

注1: 量子技術イノベーション戦略(R2.1、R4.4改訂)、量子未来社会ビジョン(R4.4)及び量子未来産業創出戦略(R5.4)

注2: 推進方策(国際連携R6.6、エコシステムR7.5)

## 1. 戦略等に掲げる項目の検討

### (1) 量子技術に係るユースケースについて

- ・ ユースケース創出検討会議において、以下の分野のユースケースと本格導入に向けた技術的・制度的課題等を整理する（資料2）。
  - ① 量子コンピュータ
  - ② 量子暗号通信
- ・ 同検討会議の報告に基づき、本会議においてさらなる議論を行う

### (2) 量子技術イノベーション拠点（QIH）の機能強化について

- ・ 本会議において提示する以下の検討課題を踏まえ、QIH及びQ-STARにおいて意見集約、課題・施策をとりまとめる（資料3）。
  - ① QIH全体及び各拠点のあり方
  - ② 技術開発、ユースケース創出に向けた産業界との連携のあり方
  - ③ 量子に係る人材確保・育成の在り方
- ・ 上記とりまとめを受けて、本会議においてさらなる議論を行う。

## 2. 今後の量子戦略の改訂に向けた検討

以下の項目について、ヒアリング等を実施。

- (1) 量子に関する経済安全保障のあり方
- (2) 量子技術と他分野技術（AI、半導体、バイオ等）との連携・融合のあり方

# 今後の予定（案）

- **第26回会議（2025年10月10日）**

テーマ:

「ユースケース創出検討会議」の中間報告を受けて議論  
「経済安全保障」に関するヒアリング

- **第27回会議（2025年12月）**

テーマ:

「QIHの機能強化」に関する中間とりまとめを受けて議論  
「異分野連携・融合（AI、半導体、バイオ）」ヒアリング

- **第28回会議（2026年3月）**

テーマ:

「ユースケース創出検討会議」最終報告を踏まえた実装促進に向けた議論  
QIH及びQ-STARにおけるとりまとめを踏まえたQIHの機能強化に向けた議論